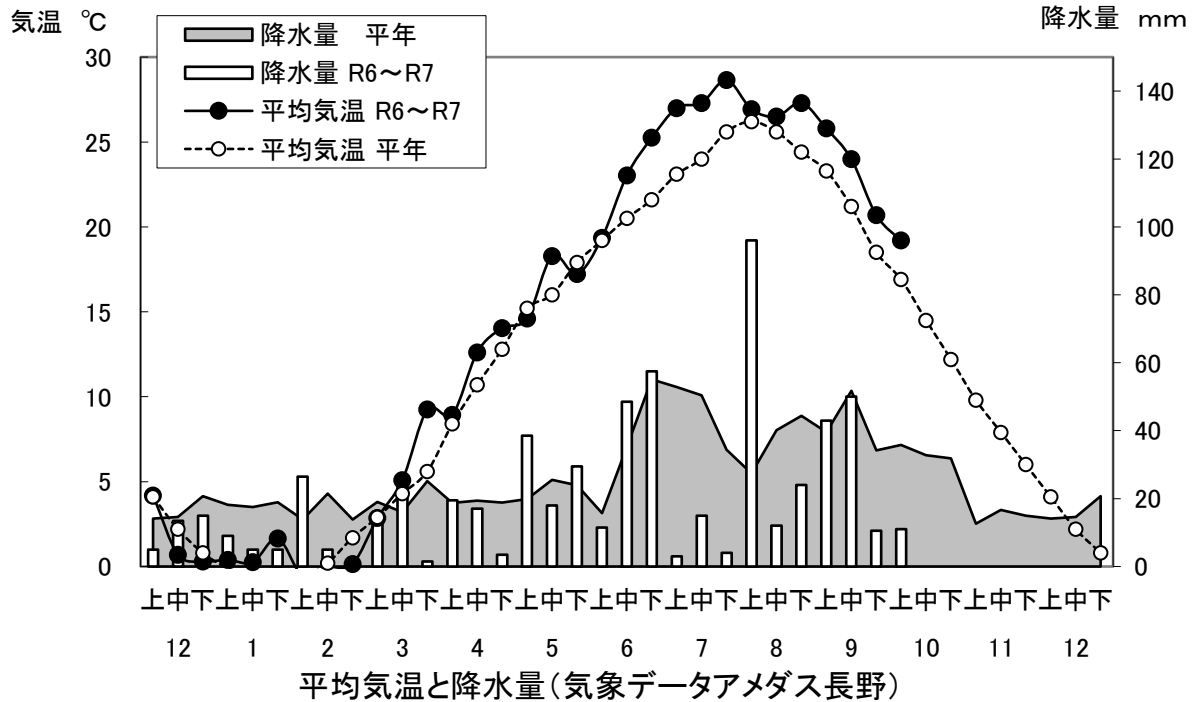


農作物の生育状況（10月15日現在）について

令和7年10月15日
長野農業農村支援センター

【気象データ】



【作物】

(1) 水稻

収穫作業は終盤で、7割程度終了している。高温障害による白未熟粒（特に背白・腹白）が多く、整粒歩合が低く、平年より一等米比率が低い。また、茶米も平年より多い。斑点米カメムシによる被害は、信濃町と高山村で発生が多い。収量はほ場差が大きく、平年並み～やや多い見込み。

(2) 大豆

標準播種大豆は落葉期～成熟期、麦後播種大豆は黄葉期を迎えている。定期的な降雨により概ね生育は順調で概ね着莢している。一部虫害により子実が食害を受けたり肥大不良となっているほ場も散見される。

(3) ソバ

信濃町・戸隠は概ね結実良好だが、千曲市は生育良好であったものの、高温による影響が花落ちが悪く結実が悪い。全体的に倒伏は少ない。

【果樹】

(1) りんご

「秋映」の収穫が終了し「シナノスイート」、「シナノゴールド」が収穫期を迎えている。高温の影響で「シナノゴールド」はデンプン消失が早期化と酸度低下がみられるため、収穫期が早期化している。一方、「シナノスイート」は糖度上昇や果皮色上昇の遅延等がみられるため、収穫が遅延する傾向となっている。「シナノホッペ」や「ふじ」についても外観の着色よりも酸抜けやデンプン消失が早く内部先熟となっている。

(2) ぶどう

「クイーンルージュ®」、「シャインマスカット」とも収穫終盤を迎えている。「シャインマスカット」は8月～9月に一時的に気温が下がったタイミングで糖度上昇が停滞し、収穫前の糖度上昇が緩慢となった。「クイーンルージュ®」は夜温が下がった影響でさらに着色が進み、順調に収穫期を迎えた。

【野菜】

(1) アスパラガス

雨よけ栽培について、温度が高い為、黄化が遅れている。遅いほ場では地上部の刈り取りを遅らせたい。露地について、茎枯病が蔓延しているほ場がある。

(2) 果菜類

露地ピーマンは、オオタバコガによる食害があり、殺虫剤の定期散布ができていないほ場がある。

(3) ナガイモ

生育後半の降雨により、長芋の肥大（裂根他）が懸念される。

【花き】

トルコギキョウの7月下旬定植で出荷期を迎えている。生育は、定植期からの高温により前進傾向。一部のほ場で立枯病の発生が見られる。

【畜産】

牧草では3番草の収穫が10月上旬から始まった。雨が少ないため草丈は短い。